

2016 年度 韓国留学 報告書

実習先：慶熙大学校

実習期間：9月3日～12月24日

新潟国際情報大学
国際文化学部
学籍番号：21015009
石塚夏美

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	6
5	所感	8
6	おわりに	8
	謝辞	8

1. 留学先および実習期間

留学先：慶熙大学校 国際教育院

留学期間：平成 27 年 9 月 3 日(土)～12 月 24 日(土)

2. 留学先概要

(1)大学について

慶熙大学は、ソウル市に位置する。キョンヒ大学は 1949 年に東門区に設立された。韓国の中でも非常に大きい大学であり、現在はソウル・水原・光陵の三か所にキャンパスが設置されている。慶熙学院が運営しており、系列の学校が多数存在している。慶熙大学には 25 個の学部があり、約 2 万人もの学生が在籍している。外国人の留学生も多く受け入れており、異文化交流が活発である。多数の著名人が卒業していることもあり、韓国国内だけでなく、海外での知名度もとても高い。

(2)大学で行われる教育について

慶熙大学では「大韓民国政府招請外国人奨学生プログラム」として毎年たくさんの外国人留学生を受け入れている。国際教育院は韓国人の生徒はおらず、外国人の留学生だけで勉強する施設である。クラスは初級・中級・高級それぞれ 2 クラスの 6 つに分かれている。各クラス 10 人～13 人程度と少人数なので集中して勉強に取り組むことが出来る。1 クラスに担当の先生が 2 人おり、親身になって授業をしてくれる。

また、慶熙大学には「トウミ制度」というものが設けられている。トウミ制度とは慶熙大学に通う韓国人学生が韓国生活を手助けしてくれる制度である。対話の練習や、生活していて分からない事があれば教えてくれるので、韓国で生活する上で大きな手助けとなってくれる。

また、毎学期「現地学習」が行われている。バスに乗り、なかなか行くことの出来ない有名な場所や遠くに行くことが出来る。これはクラスの親睦を深める良い機会になり、その後は授業もより楽しく受けることが出来る。

3. 留学目的

今回の留学の目的は語学力の実力を試すことと、それを踏まえてさらに語学力の向上を図るためである。大学で 1 年間韓国語を学び、以前より韓国語力が伸びた実感を得ることが出来た。しかし授業時間外でネイティブの人と会話をする機会がなかなかなく、上手くコミュニケーションを取ることが出来なかった。そこで、本場で韓国語を使い、多くの人と関わり、積極的にコミュニケーションを取ろうと考えた。人とコミュニケーションを取ることが得意ではないので、これを機に自分からコミュニケーションを取る練習をする。実際に生活してみなければ分からないような単語や言葉も出てくるだろう。それらを学ぶことによってより成長できるのではないだろうかと思われた。

また、語学面だけではなく、他国の文化や歴史を学ぶことでより一層知識を深められる

と考えた。その国の文化や歴史・習慣など身を持って体験できるというのは、留学ならではの経験ではないかと思われる。他国の文化を受け入れ、生活したい。さらに、日本との共通点・異なる点を探ることが目標である。

4. 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
9	3 (土)	到着	オリエンテーション、入寮
	4 (日)		
	5 (月)	短期学期 入校式	
	6 (火)	授業開始	オリエンテーション
	7 (水)	韓国語授業	文化授業 (韓国の映画)
	8 (木)	現地学習	
	9 (金)	韓国語授業	
	10 (土)	韓国語授業	
	12 (月)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	13 (火)	韓国語授業	特別講義 (韓国のマナー)
	14 (水)	現地学習	
	15 (木)		
	16 (金)	韓国語授業	
	19 (月)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	20 (火)	韓国語授業	特別講義 (テコンドー)
	21 (水)	韓国語授業	文化授業 (韓国の歌)
	22 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)
	23 (金)	短期学期 終了式	
	26 (月)	韓国語授業	文化授業 (歌)
	27 (火)	韓国語授業	特別講義
28 (水)	秋学期 入校式	文化授業 (映画)	
29 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)	
30 (金)	韓国語授業		
10	3 (月)		
	4 (火)	韓国語授業	世界ハングル作家大会

	5 (水)	韓国語授業、ミスターK公演	文化授業 (歌)
	6 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)
	7 (金)	韓国語授業	
	10 (月)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	11 (火)	韓国語授業	文化授業 (伝統楽器)
	12 (水)	韓国語授業	特別講義
	13 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)
	14 (金)	韓国語授業	
	17 (月)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	18 (火)	韓国語授業	特別講義
	19 (水)	韓国語授業	文化授業 (歌)
	20 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)
	21 (金)	韓国語授業	
	24 (月)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	25 (火)	韓国語授業	特別講義 (ダンス)
	26 (水)	韓国語授業	文化授業 (歌)
	27 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)
	28 (金)	韓国語授業	
	31 (月)	中間試験	
11	1 (火)	中間試験	
	2 (水)	韓国語授業	文化授業 (歌)
	3 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)
	4 (金)	韓国語授業	
	6 (日)	現地学習	
	7 (月)		
	8 (火)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	9 (水)	韓国語授業	文化授業 (歌)
	10 (木)	韓国語授業	特別講義
	11 (金)	韓国語授業	
	14 (月)	韓国語授業	文化授業 (歌)
	15 (火)	韓国語授業	
	16 (水)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	17 (木)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)
	18 (金)	韓国語授業	
	21 (月)	韓国語授業	文化授業 (セミナー)

	22 (火)	韓国語授業	特別講義
	23 (水)	韓国語授業	文化授業 (歌)
	24 (木)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	25 (金)	韓国語授業	
	28 (月)	韓国語授業	文化授業 (映画)
	29 (火)	韓国語授業	日中韓キャンパスハーモニー
	30 (水)	韓国語授業	文化授業 (歌)
12	1 (木)	期末試験	文化授業 (セミナー)
	2 (金)	期末試験	
	5 (月)	韓国語授業	
	6 (火)	韓国語授業	
	7 (水)	秋学期 終了式	文化授業 (歌)
	8 (木)	韓国語能力試験特別授業	文化授業 (映画)
	9 (金)	韓国語能力試験特別授業	
	10 (土)	韓国語能力試験特別授業	
	11 (日)	韓国語能力試験特別授業	
	12 (月)	韓国語能力試験特別授業	
	13 (火)	韓国語能力試験特別授業	
	14 (水)	韓国語能力試験特別授業	特別講義
	15 (木)	韓国語能力試験特別授業	文化授業 (セミナー)
	16 (金)	終了式	
	17 (土)		自由研修
	18 (日)		自由研修
	19 (月)		自由研修
	20 (火)		自由研修
	21 (水)		自由研修
	22 (木)		自由研修
	23 (金)		自由研修
	24 (土)	出発	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)短期学期の韓国語授業

初級1の韓国語の文法・韓国語のスピーキング・リスニングの言語能力を上達させるための授業であった。1・2限に文法、3・4限は日替わりで会話とスピーキングを勉強する。

文法の教科書の中で、特に難しいところを中心に進めていく。毎日、文法の宿題が出た。

ii)秋学期の韓国語授業

初級2の韓国語の文法・スピーキング・リスニング・ライティング・リーディングの言語機能を総合的に学ぶ授業であった。文法は毎日勉強し、会話・聞き取り・読解・作文は日替わりで勉強した。あらかじめ、次の日に習う単語を予習しておく必要があった。宿題が毎日ある。

iii)韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業

韓国語能力試験に向け勉強した。過去の問題を解き、答え合わせをして重要な所や分かりづらい箇所を説明してもらった。TOPIK I・II どちらも練習した。

iv)文化授業 韓国の歌

自分たちの学びたい歌、紹介したい曲を一曲選び、それについて説明し、歌って学ぶ授業であった。歌詞の意味を理解し、スピーディーに韓国語を話せるようにする練習でもあった。

v)特別講義

特別講義では国際教育院の委員長や課外の先生が来てくださり、韓国の文化や歴史、伝統的な遊び、伝統楽器、マナー、テコンドー、ダンスなどを学ぶ授業であった。また、ジャンプというミュージカルも見に行った。

vi)文化授業 韓国の映画

先生が毎回おすすめ韓国の映画を紹介してくれた。映画を観た後、グループワークや個人の意見などを発表しあった。

vii)セミナー

あらかじめ用意されたテーマの中から1つ選び、それぞれ4人1組のグループで、韓国についてパワーポイントを使って紹介する授業であった。その後、各自でテーマを選び、原稿とパワーポイントの作成を行い、最後の授業で発表した。

viii)現地学習

現地学習を3回行った。1回目は利川陶芸村・民俗村・慶熙大学 国際キャンパスへ行き、2回目は国立中央博物館・N ソウルタワー・「ナンタ」を鑑賞した。韓国の歴史や文化に触れ学習した。ミッションが出され、仲間と協力し合った。3回目は1泊2日で江原道にある雪岳山へ行った。クラスメイトと親睦を深める良い機会となった。

ix)世界ハンゲル作家大会

ハンゲルとは何かを学び、文章を書き写す大会であった。入賞することが出来て嬉しかった。

x)日中韓キャンパスハーモニー

さまざまな大学から日中韓3名ずつで1グループを作り、3か国の特徴や違いについて発表していた。新しい発見がたくさんあり楽しく聞くことが出来た。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)積極的に韓国語でコミュニケーションを取ることに

初めの何週間はなかなか勇気が出ず、話しかけられる機会を待っていたり、日本語が話せる人には日本語で話しかけていた。しかし授業を受けていくうちに自信が付き始め、たくさんの人とコミュニケーションを取ることが出来た。

先生やクラスメイトはもちろん、街中で困った時やお店などで声をかけることが出来た。この通り、たくさんの人と関わる事が出来た。

ii)他国の文化や歴史・習慣を学び、日本との共通点・異なる点を理解することに

韓国だけでなくクラスメイトの母国の文化や習慣を学ぶことが出来た。また、日本の文化などを説明することにより、日本のこともさらに勉強することが出来た。韓国と日本はたくさん共通点があり、ヨーロッパやサウジアラビアなどは異なる点が多いことが分かった。文化の違いを受け入れ、快適に楽しく過ごすことが出来た。

6 反省・課題

4カ月という長い期間が短く感じられるぐらい、有意義な経験が出来た。この留学が人生の中でも貴重な経験となり、良い思い出になるだろう。たくさんを学び、多くの刺激を受けることができたので、今後の勉強や生活に生かしたいと思う。

謝辞

今回、慶熙大学校国際教育院にて親切な対応と指導をしてくださったキム・スンミン先生、パク・サンウン先生、イム・ジウン先生、キムスルギ先生、常に気にかけて面倒を見て下さった川上洋子先生、その他大勢の関係者の皆様に心から感謝申し上げます。また、普段から熱心な指導をしてくださり、一緒に留学の準備をしてくださったシン・ウンジュ先生・パク・スヒ先生・吉澤文寿先生に感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました

奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを心から感謝いたします。

